優しさとたくましさ、

和歌山県・日置川

ほんまもんの感動体験で心豊かに

海かがやき　山ひびく　清流日置川の里

紀伊半島の南部に位置する和歌山県白浜町日置川地域は、山、川、海と三拍子そろった「ほんまもん体験」の里。温暖で恵まれた自然の中で営む農林漁業、脈々と受け継がれ育まれてきた生活文化、そこで暮らす穏やかで温かい人々が体験リーダーであり、民泊の担い手です。

南紀州交流公社では、ありのままの暮らしや生業の中で、技術や知識を伝え、地域の誇りや自分の生き様、体験プログラムの物語を伝え体験交流を通して感動し互いに心高まる旅となるよう努めています。

体験交流は人を育てる

農林漁家生活体験（民泊）

一地域で民泊受入協力家庭が100軒。400人の受け入れが可能。民泊先は、山・川・海エリアに幅広く分布して多様性があり、対面式会場（地域の中央）からいずれも30分圏内。民泊では、生徒の皆さんをお客さまとしてではなく、家族の一員としてお迎えし、一緒に笑い、時には叱り、互いに協力しあい人間関係構築力を高めることを大切にしています。

食事は、なるべく自家食材とし食材を採りにいくことから始め、新鮮な野菜や魚が「ほんものの味」を教え、日本の伝統料理のおいしさに気付きます。共同調理で初めて経験する魚さばきに挑戦し、生物の命をいただくことのひと時です。

安全で教育効果の高い受け入れ実施のため、防災対策と衛生対策の指導責任者を置き、シーズン初めには保健所、消防署、警察署による講習会を開催し、安全管理、衛生管理を徹底。また「インストラクター研修会」や「民泊受入講習会」を随時開催し、「民泊受入マニュアル」「安全対策マニュアル」を配布、会員の資質の向上を図っています。

民宿での分宿

地域内には10軒の民宿があり、クラス別、男女別で分宿できます。

お勧め「ほんまもん体験」

農林漁業、伝統工芸、歴史文化、味覚体験などの和歌山らしい体験プログラムが地域内でそろいます。

紀州備長炭の作業体験

和歌山県の無形文化財である紀州備長炭作りを通し、自然との共生、人々の知恵、伝統産業を学びます。「窯出し」は、1300度の熱い炎との闘い。

林業間伐体験

紀州木の国で山を守り育てる林業は環境学習であり、間伐体験はのこぎりを使って木を倒し危機管理も学びます。

リバーカヌー体験

川底の石まではっきり見える県立自然公園、清流日置川をカヌーツーリング。野趣あふれる感動体験です。

アクセス

近畿自動車道の延伸により、日置川インターが開通（今年夏から）。新大阪から日置川ICまでバスで2時間30分。JR特急くろしおで新大阪から紀伊日置駅3時間弱（貸切臨時列車利用）。

もう一度行きたくなる感動体験「南紀州ほんまもん体験」に地域一丸となって取り組み、皆さまのお越しをお待ちしております。

ほんものの味を教わる民泊での食事風景

灼熱の備長炭窯だし体験

山を守り育てる林業体験

熊野古道安居の渡し

一般社団法人　南紀州交流公社
〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居306-1
TEL 0739-53-0055　FAX 0739-53-0055
E-mail: minamikishu@samba.ocn.ne.jp
URL http://www.minamikishu.com

徳島県・三好市

山里に残る日本の暮らしと原風景

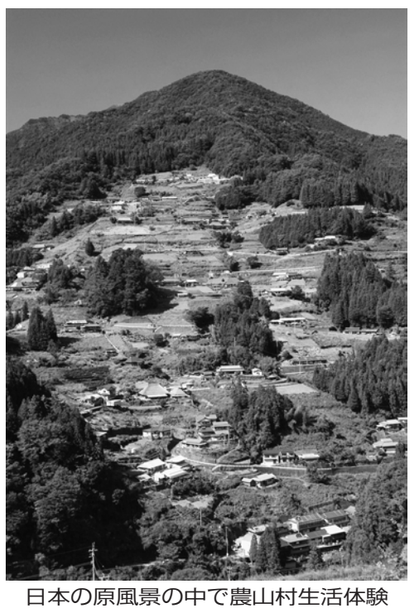
そらの郷

「そらの郷」と古くから呼ばれる徳島県西部の山岳地帯は、四国の中央に位置する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）にあります。西日本第二の高峰「剣山」を臨み、四国三郎「吉野川」と共生する当地は、まさに日本の原風景そのものであり、他の地域では忘れられつつある、古き良き素朴で温かみのある暮らしが今も息づくとともに、「祖谷のかずら橋」や「うだつの町並み」をはじめとする文化遺産や、豊富で新鮮な食材など、魅力的な地域資源にあふれています。

私たちは、この恵まれた環境で、あるがままの暮らしの中へ、日本の未来を担う生徒たちを迎え入れ、地域住民との生活体験を通して交流し、生業の喜びや大変さ、不便さなどを伝え、それに挑む精神力、乗り越える達成感、感動を体得させ、心の豊かさと生きる力を育みます。農山村の暮らし体験「民泊」は地域の生活体験を通して、自然の恵みに感謝し、人と人との関わりや絆など、真の豊かさとは何かを体験を通して伝え、生徒たちと受け入れ家庭が「心の交流」を行い、互いに高まりあう「精神文化の向上」を最大の目的にしています。地域内160軒、国三郎とも呼ばれる暴れ川ですが、普段はその豊富な水量のおかげで豊かな恵みをもたらしてくれる命の川です。そんな人々の暮らしを支えるもう一つの川の恩恵がラフティングに代表されるリバースポーツです。そらの郷の山並みを深い渓谷で刻み、荒々しく、時にはゆったりと流れる川面に身を任せるとき、自然と一体となった感動を味わうことができます。吉野川を愛してやまないリバーガイドが、川や自然との付き合い方を紹介。民泊とは異なる視点から、そらの郷をご案内します。

同時受け入れ480人可能の民泊家庭は日本の未来を担う青少年の健全な育成に関わるのだという自負を持ち、地域振興のため、さらには、地域住民の地域に対する自信と誇りの高揚のために、今まで以上に「安全・安心」の農山村生活体験・民泊づくりの構築に努めています。

また、吉野川は別名四国三郎とも呼ばれる暴れ


日本の原風景の中で農山村生活体験

山里で農作業体験

お茶作りにも挑戦

山里の伝統そば打ちを体験

吉野川で人気のリバースポーツ・ラフティングを体験

一般社団法人　そらの郷
営業時間　平日8：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・得田までお願いします
〒778-0003 徳島県三好市池田町サラダ1893-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
URL http://www.soranosato.jp/

長崎県・北松浦半島

豊かな心を育む感動体験

ほんなもん松浦党の里体験

今日、科学の対象は多岐に分かれ、さらにそれぞれの分野で細分化と専門化が進行し、高い基礎学力が求められる傾向が強まっているようです。この科学の繁栄は、ヒトが世代を重ねながら高度化してきた社会という基盤の上に開花したにも関わらず、今日では成人になるまでに会得すべき社会性や人間性、人格などを育む機会の減少が懸念されています。

個の確立にとっては、異年齢を含む多くの人々からの伝承や教示が極めて重要です。多くの人々との密接な交わりから、大人になるために大切な多くのことを学ぶ必要があります。そうして大人になり、後輩や我が子に必要な社会性や人間性、人格を授けてやり、さらに次の世代へつなぐ責任を担うことが求められています。

私たちは、自然や地域社会、家族、農水産物などの食料生産の現場といった豊かな人間形成に不可欠なものや、一人一人の「こころ」を通して高校生の「食育」と「人格形成」のお手伝いをします。

人格は健全な肉体と不可分のものです。本人の健康のみならず健全な命を後世につなぐための食育は、人類普遍の根源的テーマです。食育にとって自然環境と食料生産の現場を知ることは、極めて重要な基本と位置づけて対応しています。

修学旅行で訪れる高校生は、自分の力で見知らぬ人と心を通じ合おうと努力します。生徒には恐らく初めての経験です。生徒たちは農漁業などの食料生産に関わる体験や、民泊する農漁家などでの夕食づくりを通して自然と食料、食文化、家庭、家族などを深く知ることとなります。互いに気遣いながら1晩か2晩を家族の一員として過ごすなかで心地よい人間関係を築いていきます。わずか数日の滞在の間に、「こころ」通じ合うことのすばらしさや比類なく貴いものを自らの力で発見し、感動し心高まり大きな自信も得ています。

これまで知識としては入ったものの身につかなかったことが、ここでようやく得心に至るのです。こうして、人格が高まることで周囲の人の「食育」や生活、進路に対する助言などに関する情報から素直に学べるようになると考えています。

人格形成の大切な時期にこのような経験をし、人間関係に迷うことなく自信に満ちた進路を開拓するようになることがこの修学旅行の目指す成果です。これが私たちの願いであり、このように貴いことに携わることがこのうえない誇りです。

この、互いに「高まる」価値を創り出す努力に対して対価があり、料金はこのような貴い教育効果への対価です。決して単なる宿代や体験料であってはならないと考えています。

私たちは、日本の未来を担う青少年の人格形成のため、自信と誇りを持って努めます。ご利用を心よりお待ち申し上げます。

家族の優しさに触れる農村民泊

松浦党の里ほんなもん体験　修学旅行モデルコース 3泊4日
松浦2泊コース（民泊2泊・2体験プログラム）

日次	行程	宿泊地
1	各空港（機内弁当）→ 福岡空港（11:00頃 11:30）═ 都市高速～太宰府IC ═ 金立SA（休憩）（12:40 13:00）═ 長崎平和学習（14:30 17:00）═ 長崎市内ホテル（17:20）	長崎
2	ホテル（9:00）═ 松ケ枝駐車場（9:20）… 班別自主研修 … 松ケ枝駐車場（14:30）═ 大村湾PA ═ 佐々IC ═ 川登SA ═ 武雄北方IC ═ 松浦党の里 対面式（※民泊家庭とご対面）（17:00）	農漁村民家ステイ（1家庭4～5名） 引率者宿舎…近隣の旅館・民宿・ホテル
3	各民家より集合（8:00）═ 午前 ほんなもん体験（8:30～11:30）═ 松浦党の里（昼食・休憩）（12:00 13:00）═ 午後 ほんなもん体験（13:30～16:30）═ 各民家へ（17:00）	
4	各民家より集合 離村式（8:30）═ 武雄北方IC ═ 金立SA（休憩）（10:00 10:20）═ 太宰府IC ═ 太宰府天満宮（11:00 13:00）═ 都市高速 ═ 福岡空港（14:00頃）→ 各空港	

一般社団法人　まつうら党交流公社
〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免1808-1
TEL 0956-27-9333　FAX 0956-27-9334
E-mail:kouryu-1ban@matsuurato.jp
URL http://www.honmono-taiken.jp

長崎県・五島市

一島一校のしま暮らし民泊

オンリーワンのおもてなし

長崎県五島列島・福江島を中心に、11の有人島と52の無人島からなる五島市。美しい海と豊かな自然が溢れ、四季を通じて釣りや山海の味覚が楽しめます。

古くは遣唐使の寄港地として海外交易の拠点として栄え、またカトリック信仰の地として数多くの教会が点在し、さらに倭寇や空海の伝説が残り、城郭や武家屋敷など歴史文化遺産も豊富です。特に教会は、長崎県や関係市町と連携して、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を目指しています。

500人受け入れが可能な民泊

五島市では現在、豊かな自然と多様な農林漁業の営み、歴史や文化を生かした体験交流型教育旅行の受け入れを推進しています。「五島感動しま旅！」と銘打った一連のプログラム群でこだわっているのは、「ほんものの体験」であることです。

そしてその「ほんものの体験」の根幹は、島の暮らしをどっぷりと体験する「民泊」です。市内全域で最大125軒500人の受け入れが可能で、ありのままの暮らしの中、生徒の皆さんをお客さまではなく家族の一員として迎え入れます。

一方、「体験」は、民泊先などで受け入れ家族と一緒に過ごす家業体験、島ならではの漁業体験、昼食もセットにできるた点を置きながら、昔ながらの島の暮らしを体感してもらうプログラムです。個別の体験場所への移動の手間が省ける上、泊が定番のコースとなります。民泊1泊の場合は、ふれあい交流（家業）体験を組み合わせることで深い交流を目指します。民泊2泊の場合は、中日の午前か午後にクラス全体でできる漁業体験などを組み込むことで、生徒の皆さん同士の交流も深められます。

五島市の強みと特徴

民泊と海を主舞台にした体験、さらに島ごとに他校受け入れのない「一島一校」の受け入れポリシー、そして地元の伝統芸能やご当地キャラを織り交ぜたお出迎えと、カラーテープの舞う島ならではのお別れの光景など、五島ならではのオンリーワンのおもてなしが強みです。

豊富な漁業体験

漁業体験は、防波堤釣り、船釣り、定置網、刺し網、地引網の各体験に加え、五島ならではのすけ漁、灰ダコ捕り、ウニ割り体験などを実施しています。

定番の「防波堤釣り」は、地区や時期に関わらず実施できる上、アジやカサゴやベラなど釣った魚を持ち帰り、民泊先で自ら料理して食べることができます。地引網やすけ漁、灰ダコ捕りについては、同時に100～200人規模での実施が可能です。

高校モデルコース

長崎平和学習と五島民泊が定番のコースとなり

「ほんもの体験」が生む民泊先での深いふれあい

ふれあい交流体験で島の暮らしを体感

時期に関わらず実施できる防波堤釣り

カラーテープの舞うお別れの光景

一般社団法人　五島市観光協会
〒853-0015　長崎県五島市東浜町2-3-1
TEL 0959-72-2963　FAX 0959-74-3215
URL http://www.goto-shimatabi.com/